

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告(第124回)



実施日時:2023年2月22日(水) 10:45~12:15

参加者:豊田先生・大中先生・蛭田先生

+クラブ員(12) ほか園芸療法課程修了生 = 20名

場所:園芸療法ガーデン

内容:各班の作業 ~展示ゾーンの花壇管理や創作・メンテ作業~



<4班> 創作・メンテ

○作業内容
「音の花壇」のレイズドベッド縁板で、昨年おこなった塗装が一部はがれている箇所がありましたので、今回はその部分について塗装をやり直しました。

○3月の予定
「味覚と香りの花壇」のレイズドベッド縁板については塗装が施されていませんでしたが、豊田先生と相談のうえ、新たに塗装をおこなうこととしました。(Sさん)

音の花壇 2班

概略図 (対象エリア)



<3班>

寒い朝でしたが徐々に日差しが温かくなり気持ち良い作業になりました。3班の皆さまお疲れ様でした。活動の報告をします。
①ハーブの芽と雑草の芽を見分けながらの除草作業が主な作業となりました。
雑草は小さなカタバミ、オランダミナグサ、フウロソウ、ハコベ等
ハーブの芽はフェネル、ローマンカモミール等が出ていました。
②サラダバーネットの苗を植える。
③説明板に書かれている植物と実際の植物の位置があまりにも離れているので、再度、説明板の見直しをして豊田先生にみていただきました。
先生や4班の皆さまにお手数をおかけしますが、新たに次回、取り付けられると嬉しいですよ。
どうぞよろしくお願い致します。(Kさん)



<2班>

今回は、春を迎える音の花壇について、他班から見た作業ぶりなどを紹介いたします。この時期、耳を澄ますと野鳥のさえずりとともに、池の噴水の水音が響きます。
◎今月の作業は、枯れたウインターコスモスやグラス類の切り取りや雑草抜きを一部を残しながら、除草をしたいとします。池とフジ棚の間もすっきりします。

◎今後の作業は、前回までの池のキッシュの間引き作業などで隠れていたり噴水の水の流れが見えるようになります。Mさんからは、池にはメダカの姿も残っています。鳥の餌にならないようお聞きしました。作業、お疲れさまでした。(1班 U)

味覚と香りの花壇 3班



<1班>

一班的皆さん、応援をしていただいた皆さん、お疲れさまでした。今年に入ってから初めての作業でした。始める前は少し寒さがありましたが、作業をやっていると寒さもあまり感じませんでした。また触れる花壇の裏にウグイスカグラの小さな花が咲いていました。いよいよ春だと感じました。
◎今月の作業
1.ユリオブスステージも切り戻し後、ほぼ順調に芽も出、これからが楽しみです。一部、芽が出ず、枯れそうな枝は剪定しました。
2.ビオラやガーデンシクラメンの花がら摘み、寒さで弱った葉などを除去や枯れ葉など清掃しました。
3.アガパンサスが少し、密になっていたでプランスを見て、撤去や葉の切り戻しをしました。
4.花壇説明板と現在の状況を確認しました。ロシアンセージ、ギボウシ、キャットテールなどは暖かくなってから確認ができると思います。原種のチュリップ、ラセンイ、アサギリソウなどは若い葉や残っている葉があります。
◎今後の予定
1.色の花壇南側のカツキブキが大きく成長し過ぎていて日当たりが悪くなっていると感じました。少し陰になっている所の改善策も今後考えた方が良いでしょう。
2.春に向けて、色の花壇・触れる花壇の補植の検討。(Kさん)

触れる花壇 色の花壇 1班



原則 毎月 第4水曜日

ただし、*:<2023>12月は第3水曜日

<2023>	3/22	4/26	5/24	6/28
	7/26	8/23	9/27	
	10/25	11/22	12/20*	
<2024>	1/24	2/28	3/27	

今後の予定

今年最初の例会は先月は大雪で中止、今月に持ち越しました。曇り空の寒い朝でしたが、豊田先生から恒例の作業ポイントの説明を受けた後、作業を始めるとともに体が温まり、天気も澄み渡る青空に変わりました。インストラクターの先生方がトリスの奥のホルトノキの高木を伐採、青空がその分広がったようです。フェネルの緑が目立ち、クレマチスや演習ゾーンの啓翁桜の蕾が膨らんでいます。コロナが収束し、来月以降も引き続き例会が開催されることを祈りつつ作業は終了しました。参加の皆さん、お疲れさまでした。
世話人:植田(2/24記)小西

現在、クラブ員の募集は停止しています。